



高1

2025 シラバス





目次

ページ

3 英語コミュニケーションⅠα

4 英語コミュニケーションⅠβ

5 Advanced English Ⅰ

6 論理・表現Ⅰ

7 現代の国語

8 言語文化

9 歴史総合

10 数学Ⅰ

11 数学A

12 物理基礎

13 化学基礎

14 音楽Ⅰ

15 美術Ⅰ

16 書道Ⅰ

17 体 育

18 保 健

19 家庭基礎

20 宗 教

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校 1 年	英語コミュニケーションⅠα		分割	4 単位

教科書 書名（出版社） CROWN English Communication I（三省堂）	副読本 Database4500・DataBase Workbook（桐原書店） Hyper listening 4th Edition Pre-Intermediate（桐原書店） Active Practical Reading（第一学習社） CORPUS CROWN総合英語（三省堂） CORPUS CROWN English Grammar27テキスト・Workbook（三省堂）
目標・ねらい 1 英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。 2 英語の学習を通じて、よきCommunicatorとしての素地を身に付ける。 3 自己表現のためのツール（文法、語彙、論理展開）を身に付ける。 4 自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） 1 学習方法 （1）予習 ア 授業内で指示された宿題 （CROWN（教科書）やクラウン総合英語Workbook等） （2）授業中 ア 帯活動（Speaking／Listening／Reading） イ オーラル・イントロダクション／復習（新出語彙・本文音読） ウ リスニングによる概要把握 エ 新出語彙の確認 オ 本文の内容理解と音読 カ 新出文法のルールの理解とそれを使った自己表現 キ 自己表現（Presentation／Essay） ク Vocabulary Quiz, DataBase Quiz, Grammar Small Quiz, Hyper Listening（各週1回） （3）復習・宿題 ア 教科書を中心とした内容 イ クラウン総合英語 Workbook ウ DataBase WorkbookA,B,C エ Hyper Listening ディクテーションノート オ 定期テスト直し 2 長期休業の課題 （1）DataBase 100 Quiz （2）長文読解 （3）Optional Reading（Active Practical Reading） （4）文法問題	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	定期テスト、単語・文法クイズ等
思考・判断・表現	30	定期テスト、Presentation、Essay Hyper Listening、CORPUS Quiz、プリント、ノート等
主体的に学習に取り組む態度	20	CORPUS CROWN English Grammar27 Workbook・テキスト、Hyper Listening、Active Practical Reading、プリント、ノート等

年間授業計画表

単元	目標
前期 Guidance Lesson 1: The Blue White Shirt to 不定詞／動名詞 Lesson 2: Does It Speak Joy? 現在完了／現在完了進行形／助動詞 Grammar27 L. 13-14, L. 16-17 不定詞・動名詞 L. 1-L3 文の種類・動詞と文型 L. 4-L. 6 時制, L. 8-L. 10 助動詞 Hyper Listening, Active Practical Reading 中間テスト	・授業の目的、進め方、課題、評価方法を理解する。 Lesson 1: 英語話者の和製英語に関する体験談を理解し、考えを深め、自分の意見を交換したり、書いて伝えたりする。 ・to 不定詞、動名詞、分の種類、文型を理解する。 Lesson 2: 片づけ専門家近藤麻理恵さんの考え方を理解し、自身の経験や考え方について、書いたり伝えたりする。 ・現在完了、現在完了進行形、助動詞を理解する。
Lesson 3: Hatching Edge of Hope 関係代名詞／分詞の形容詞的用法／受動態 Lesson 4: Digiing into Mystery 過去完了・過去完了進行形／関係代名詞what／S+V+O(0=関係詞節/if節) GTEC Grammar27 L. 22-23 関係詞 L. 18 分詞 L. 7 時制 L. 24 関係詞 Hyper Listening, Active Practical Reading 期末テスト	Lesson 3: ・ミヤザキケンスケさんの生き方について読み、芸術の持つ力や考え方から学んだことについて、自分の意見を述べ、他者の考えを理解する。 ・関係代名詞、分詞の形容詞的用法、受動態を理解する。 Lesson 4: ・縄文時代の生活や土偶、縄文の芸術からの影響について読み、理解する。 ・過去完了、過去完了進行形、関係代名詞what、S+V+O(0=関係詞節/i節)を理解する。 □ □
Lesson 5: Roots & Shoots 分詞構文／it ～ that ...（形式主語）／同格 Lesson 6: You and Your Smartphone -Who's in Charge? 関係副詞／S+V+O+C(C=原型不定詞・分詞) Grammar27 L. 19 分詞 L. 24 関係詞 L. 15 不定詞 Hyper Listening, Active Practical Reading Losson 7: Living in Alasuka seems to ～: it seems that ～ S+is + C (C=that節)/ S+V+C (C=分詞)	Lesson 5: ・人間と動物の共生や環境保護に関するジェーン・グドール博士の考えについて理解し、人間と動物の「共生」、環境保護について考える。 ・絶滅危惧種保護の必要性について、自分の意見を述べ他者の考えを理解する。 ・分詞構文 Lesson 6: ・スマートフォンをめぐる現状と懸念について読み、スマートフォンが与える影響について考える。 ・関係副詞、S+V+O+C(C=原型不定詞・分詞)を理解する。 Lesson 7: 写真家の星野道夫氏のアラスカと自然についての文章を読み、星野氏の自然に対する考え方を理解し、環境問題について意見交換ができる。
後期 中間テスト Lesson 8: Not So Long Ago 仮定法過去／S+V+O1+O2(O2=that節/疑問詞節)/付帯状況のwith Gramar27 L. 25 仮定法過去 Additional Lesson 分詞 Hyper Listening, Active Practical Reading	中間テスト Lesson 8: ・20世紀を振り返る写真展の解説を読み20世紀を経て私たちが得た教訓について考える。 ・戦争のない世界が実現するために私たちができることは何かについて、自分の意見を述べ他者の考えを理解する。 ・仮定法過去、文型を理解する。
Lesson 9: Our Lost Friend 受動態の完了形／助動詞+be+過去分詞／関係代名詞の非制限用法 Lesson 10: Good Ol' Charlie Brown 仮定法過去完了／used to～・would～／形式目的語it Grammar27 L. 11-12 態 L. 26 仮定法過去完了 L. 27 時制の一致と語法 学年末テスト	Lesson 9: ・文化財の奪還についての記事を読み、大英博物館が所蔵する文化財の返還の是非について意見を述べる。 ・受動態の完了形、助動詞+be+過去分詞、関係代名詞の非制限用法を理解する。 Lesson 10: ・漫画「ピーナッツ」の作者、チャールズ・シュルツについての文章を読み、彼の考える「人生の成功」について理解する。 ・Peanutsから心に残ったものを選び、意見を述べる。 ・仮定法過去完了／used to～・would～／形式目的語itを理解する。

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Lesson 1: The Blue White Shirt (CROWN) to不定詞／動名詞 L.1文の種類 L.2-L.3動詞と文型 (Grammar27) Lesson 2: Does It Spark Joy? 現在完了／現在完了進行形／助動詞 (CROWN) L.4-L.5 時制 Hyper Listening、Active Reading 中間テスト	Lesson 1: ・英語話者の和製英語に関する体験談を読み、和製英語の長所または短所について考える。(CROWN) ・文の種類、文型を理解する。(Grammar27) Lesson 2: ・片付けの専門家である”こんまり”さんの考え方について読み、物を片づけることを通して気がつく大切な思いや物への向き合い方について理解する。 ・自分が”ときめく”持ち物について考え、自分の意見を述べるとともに、他者の考えを理解する。(CROWN) ・時制を理解する。(Grammar27)
	Lesson 3: Hatching the Egg of Hope (CROWN) 関係代名詞／分詞の形容詞的用法／受動態 L.6-L.7 時制, L.8-L.10助動詞 (Grammar27) Lesson 4: Digging into Mystery 過去完了・過去完了進行形／関係代名詞what／S+V+O(O=疑問詞節/if節) (CROWN) L.11-L.12 態 (Grammar27) Hyper Listening、Active Reading 模試、GTEC 期末テスト	Lesson 3: ・壁画アーティストであるミヤザキケンスケさんの生き方とその活動について読み、芸術の持つ力について考える。 ・ミヤザキさんの生き方や考え方から学んだことについて、自分の意見を述べ、他者の考えを理解する。(CROWN) ・時制、助動詞を理解する。(Grammar27) Lesson 4: ・縄文時代についてのプレゼンテーションを読み、土偶や縄文時代の人々の生活、縄文の芸術から影響を受けたものについて知り、理解する。(CROWN) ・態を理解する。(Grammar27)
後期	Lesson 5: Roots & Shoots 分詞構文／it ～ that ... (形式主語)／同格 L.13-L.15 不定詞, L.16-L.17動名詞 (Grammar 27) Lesson 6: You and Your Smartphone - Who's in Charge? 関係副詞／S+V+O+C(C=原形不定詞・分詞)(CROWN) L.18-L.19 分詞 (Grammar27) Lesson 7: Living in Alaska seem to ～: it seems that ～／S+is+C(C=that節)／S+V+C(C=分詞) (CROWN) L.22-L.24関係詞 (Grammar 27) Lesson 8: Not So Long Ago 仮定法過去／S+V+O1+O2 (O2=疑問詞節など)／付帯状況を表すwith～ (CROWN) L.25-L.26仮定法(Grammar 27) Hyper Listening、Active Reading GTEC 後期中間テスト	Lesson 5: ・「共生」、自然保護について考える。 ・絶滅危惧種保護の必要性について、自分の意見を述べ他者の考えを理解する。(CROWN) ・不定詞・動名詞を理解する。(Grammar27) Lesson 6: ・スマートフォンをめぐる現状と懸念について読み、スマートフォンが与える影響について考える。 ・分詞を理解する。(Grammar27) Lesson 7: ・写真家の星野道夫さんによる、アラスカと自然についての文章を読み、星野さんの自然に対する考え方を理解する。(CROWN) ・関係詞を理解する。(Grammar27) Lesson 8: ・21世紀を生きる自分たちは20世紀からどんな教訓を得たかを考える。 ・戦争のない世界が実現できるかどうかについて、自分の意見を述べ他者の考えを理解する。(CROWN) ・仮定法を理解する。(Grammar 27)
	Lesson 9: Our Lost Friend 受動態の完了形／助動詞+be+過去分詞／関係代名詞の非制限用法 (CROWN) L.20-L.21比較 (Grammar27) Lesson 10: Good Ol' Charlie Brown 仮定法過去完了／used to～; would～など／形式目的語it (CRWON) L.27時制の一致と話法(Grammar 27) Hyper Listening 模試、学年末テスト	Lesson 9: ・文化財の奪還についての記事を読み、さまざまな立場の考え方を読み取り、理解する。(CROWN) ・比較を理解する。(Grammar27) Lesson 10: ・シュルツの考える「人生の成功」とはなにかを理解し、自分のそれと比較する。 ・Peanutsのストリップから心に残ったものを選び、自分の意見を述べ他者の考えを理解する。(CROWN) ・話法を理解する (Grammar27)

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年AE	英語コミュニケーションⅠβ		一斉	4単位
教科書 CROWN English CommunicationⅠ(三省堂)		副読本 Data Base AVAIL(桐原書店) Data BaseAVAILワークブック(桐原書店) Hyper Listening 4th Edition Intermediate (桐原書店), Active Reading (第一学習社) NextStage (桐原書店) CORPUS CROWN総合英語(三省堂) CORPUS CROWN English Grammar 27ワークブック/テキスト(三省堂)		
目標・ねらい 1 英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。 2 自己表現のためのツール(文法、語彙、論理展開)を身に付ける。 3 自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。				
注意事項(学習方法・長期休業の課題など)				
1 学習方法 (1)予習 ア 事前に指定されたHomework Assignment(Lesson 冊子内容やワークブック等) (2)授業中 ア 帯活動(Small Talk／速読／Listening/Shadowing) イ オーラル・イントロダクションによる本文の概要把握 ウ 本文読解活動(音読、内容理解など) エ 本文の新出語彙・表現や文法の定着やそれらを使った自己表現活動 オ 本文の題材と関連した発表 カ Vocabulary Quiz、Data Base Quiz (毎週)、NextStage Quiz,Unit Quizなど (3)授業後 ア Homework Assignmentやabceed(音読／リスニング／スピーチなど)へ取り組む イ CORPUS CROWN English Grammar 27 ワークブック/テキスト ウ Hyper Listeningディクテーションシート エ Databaseワークブック				
2 長期休業の課題 ア Data Base Review Quiz(100問Quiz) イ Project ウ 教科書の追加Reading エ イディオム25問クイズ				

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	定期試験、Data Base Quiz、NextStage(イディオムテスト)
思考・判断・表現	30	定期試験、Essay、Hyper Listening
主体的に学習に取り組む態度	20	Hyper Listening、Active Reading、Booklet、CORPUS CROWN English Grammar27ワークブック・テキスト

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年AE	Advanced English I		一斉	4 単位

教科書 Harmony English Logic and Expressions I (いいずな書店)	
目標・ねらい 1. 英語がコミュニケーション・ツールであることを認識し、積極的に使う態度を身に付ける。 2. 自分の気持ちや考えを英語で論理的に表現する力（発信の能力）を身に付ける。 3. 地球規模の問題について深く考え、それに対して私たちは何ができるかについて自分の意見を持つ。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） 1 学習方法 (1) 予習 ア 与えられた課題（Listening、Reading、Speaking、Writing） (2) 授業 ア Greeting Q & A イ Short Speech → Comments and Q&A or Discussion（帯活動） ウ Main Activity of the Unit (Card Games, Essay Writing, Research, Script Writing etc.) エ Final Task (Speaking Performance Test, Short Speech, Presentation) オ Reflection (3) 復習・家庭学習 ア Reflection イ Regular Assignments (abceed, Essays, Reflection Notebook etc.) ウ Given Assignments (Speaking , Writing) エ Research and preparation for presentation 2 長期休業の課題 各種コンテスト（Speech Contest、Essay Contest等）への参加、Research SDGs、Book Report 3 その他 英語 4 技能／外部試験の受験	

評価について

項目	割合	授業時における項目
Knowledge and Skills	30	Speaking Performance Tests, Short Speech, Essay Writing, Presentation, 定期テスト
Thinking, Judgement, and Expression	50	Speaking Performance Tests, Short Speech, Essay Writing, Presentation, 定期テスト
An Attitude of Proactive Learning	20	Communication Card、Reflection

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Unit 1: Communication Skills ㊦ (Speaking) ・ Guidance ・ Short Speech ・ How to make a comment and ask a question. ・ How to write in Reflection Notebook ・ How to play Card Games ・ Overall review for the Mid-Term Exam ・ Speaking Performance Test No.1, No.2 ・ Short Speech ・ Mid-Term Exam	(1)授業の目標、活動、評価方法を知り、積極的に英語を使うとする態度を身につける。 (2)英語で授業に参加するための表現(質問する、意見を言う、話し合いをする)を身に付け、使うことができる。 (3)Short Speech のやり方を知り、話し手として自分の好きな物事についてスピーチをしたり、聞き手としてコメントや質問をすることができる。 (4)Reflection (授業の振り返り) ノートの書き方を知り、記入した内容を次の授業に生かすことができる。 (5)カードを使って、ペアやグループで与えられたトピックについて話し合うことができる。 前期中間テスト
	Unit 2: Communication Skills ㊦ (Writing) ・The proper organization of English essays ・ Essay writing on given topics ・ How to fix an essay ・ How to use the Internet or translation sites ・ How to quote from references ・ Overall review for the End of Term Exam ・ The End of Term Exam ・ Preparation for Summer Holiday project	(1)英文エッセイの論理構成を理解し、論理的に自分の考えを表現することができる。 (2)インターネット、翻訳サイトなどの使い方、参考文献の引用の仕方を知り、エッセイライティング、プレゼンテーションに生かすことができる。 前期期末テスト 夏休みの課題準備
後期	Unit 3: Japanese Culture ・ Introduction of the Unit ・ Discussion on Japanese Culture ・ Research on Japanese Culture ・ Making a poster and writing a presentation script ・ Making a presentation Unit 4: Endangered Species ・ Introduction of the Unit ・ Discussion on Endangered Species ・ Mid-Term Exam	Presentation: 留学生に日本の文化を体験できる旅行を提案することができる。 (1) 日本の文化について話し合う。 (2) 日本の文化についてリサーチする。 (3)ポスターと発表原稿を作成する。 (4)プレゼンテーションをする。 Presentation: 絶滅危惧種からひとつを取り上げ、プレゼンテーションをすることができる。 (1)様々な絶滅危惧種について知り、話し合う。 後期中間テスト
	・ Research on Endangered Species ・ Making a brochure and writing a presentation script UNIT 5:SDGs ・Introduction of the Unit ・ Read and discuss global Issues ・ Research on SDGs ・ Making slides and writing a presentation script ・ Make a presentation ・Final Exam	(2) 絶滅危惧種からひとつを選び、リサーチし、パンフレットと発表原稿を作成する。 (3) プレゼンテーションをする。 Discussion: SDGsについて取り上げ、自分たちができることを話し合い、それを提案するプレゼンテーションをすることができる。 (1)様々な地球規模の問題について書かれた英文を読んだり、動画を見たりして、その概要を知る。 (2)SDGsからひとつの内容を取り上げ、自分たちができることを話し合う。 (3)グループで考えを共有し、スライドと発表原稿を作成する。 (4)プレゼンテーションを発表する。 学年末テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Unit 1: Myself and My World (4月 – 5月) Focus: •High School Writing and Speaking Standards •Classroom expressions •Self-introduction <u>Notebook introduction</u> ※ <u>Test</u> : Speaking Test 1	(1) Understand the class objectives, assessment, and expectations for behaviour so that students can develop a resilient and positive mindset. (2) Students will know the standards for writing and speaking conventions to communicate with classmates and teachers. (3) Self-introduction will allow students to get comfortable knowing and expressing themselves in English. (4) Notebooks give students a place to write their thoughts and reflect on what they are learning.
	Unit 2: Understanding and Sharing My Culture (6月 – 7月) Focus: •Japanese Culture •Paraphrasing •Hooks •Speech Skills <u>Short Speech introduction</u> <u>Project</u> : Speech Project ※ <u>Exam</u> : Term 1 Final Exam (前期末)	(1) Students will practice their paraphrasing skills by explaining Japanese culture in English. (2) Students will learn effective opening techniques (Hooks) for speeches, presentations, and essay writing. (3) The Speech Project enables students to strengthen their speaking skills (pronunciation, enunciation, intonation, etc.) and active listening skills (comments and questions, asking for clarification, etc.) while taking the audience's perspective into consideration. (4) Students will learn how to give a short speech on their preferred topic as a speaker, and to ask questions and make comments as a listener.
後期	Unit 3: My Opinions (9月–10月) Focus: •Expressing & Justifying Your Opinions •Strong vs. Weak Reasons •Expressing Disagreement •Japanese Social Issues <u>Project</u> : Summer Holiday Project ※ <u>Test</u> : Speaking Test 2	(1) The Holiday Project provides a framework to try new things and reflect on the experience with others through writing and giving a presentation. (2) Effective strategies to express and justify opinions help students express themselves confidently when they are asked to give and explain their opinions. (3) By recognizing strong vs. weak reasons, students will be able to use strong reasons in their writing and speaking. (4) Practice in expressing disagreement helps students feel comfortable sharing their honest thoughts and opinions.
	Unit 4-A: Research (11月 – 12月) Focus: •Research Basics: Sources, Using Citations, and Academic Honesty •Identifying and Summarizing Information <u>Projects</u> : Endangered Animal Research	(1) Research skills will help students critically evaluate a source of information and find the best information to present to an audience. (2) Through research, students will learn how to find and identify key information. They will practice summarizing information in their own words. (3) The Research Project lets student utilize their research skills to present accurate information on the theme topic.
	Unit 4-B: Interview Presentation (1月 – 2月) Focus: •Presentation (Interview) skills •Synthesizing information from multiple sources (research) •End of year review and reflection <u>Projects</u> : •Endangered Animals Interview Presentation ※ <u>Exam</u> : End of Year Exam (学年末)	(1) Students will practice and give a presentation in an interview format. Classmates will ask questions so that they build a connection between (2) Students will use the information they researched in Unit 4-A in order to answer the interview questions. (3) At the end of the year, students will review the topics from the year and reflect on what they have learned.

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	論理・表現 I		Divided	1単位

教科書 書名(出版社) Harmony English Logic and Expression I	副読本 Materials made and/or prepared by the teacher Google Classroom
目標・ねらい The goals of Logic and Expression I are to help the students improve their English output (conversational speaking, presentation speaking, and writing) critical thinking and creative writing skills, as well as foster an environment where students feel confident in expressing their thoughts and opinions. Students will explore topics in English with the aim of creating international-mindedness and a sense of ownership in the social and environmental issues that impact their future.	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) In Class: Students will use English expressions to discuss their interests, opinions, likes and dislikes. To broaden their thinking, discussion topics will range from the personal to news, human interest stories, culture, endangered animals, and Japanese social issues. Resources from the textbook such as grammar points and expressions, as well as ICT resources and multimedia will be utilized. Pair work or group work will be required for some activities and assignments. Students are expected to give presentations in class.	
Assessment: Students will be assessed under three criteria: (1) Knowledge and Skills (知識・技能) – Conventions of the English Language (2) Thinking, Judgement, and Expressions (思考力・判断力・表現力) – Content, Critical Thinking, Expressions (3) Attitude towards learning (主体的に学習に取り組む態度) – Taking a proactive approach and responsibility for one's own learning	
Assessment pieces: •Projects •Exams (Term 1 Final Exam (前期末) / End of Year Exam (学年末)) •Speaking Tests •Quizzes •Class Participation •Student Self-Assessment and Peer Assessment •Speaking Activities, Homework, and misc. assignments	
Class Participation and Expectations •Students are expected to take a pro-active approach to their classwork and are responsible for their time management and self-organization. This includes completing assignments in an orderly manner, keeping their class materials clean and organized, and coming to class prepared. •Students are expected to use Google Classroom, tablets, and other ICT resources (abceed, etc.) to complete classwork. If they have any ICT difficulties, it is their responsibility to tell their teacher as soon as possible. School tablets are also available for students' use. •The focus of this course is "communication," so students are expected to contact their teacher if they have any questions or troubles related to this class.	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能 Knowledge and Skills	40	Projects (Conventions), Exams, Tests
思考力・判断力・表現力 Thinking, Judgement, Expressions	40	Projects (Content), Exams, Tests, Q&A sessions
主体的に学習に取り組む態度 Attitude towards learning	20	Projects (Attitude), Class Participation, Self-assessment, Speeches and Speaking activities

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	現代の国語		一斉	2単位

教科書 現代の国語（大修館書店）	副読本 大学入試漢字TOP2000（いいずな書店）
目標・ねらい ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を有機的に関連付け、総合的な国語力を身に付ける。 ・思考を論理的に組み立て、相手が理解できるように分かりやすく表現できる力を養う。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など)	
学習方法	
予習 教科書の本文を読み、重要漢字の書き取り、重要語句の意味調べをしておく。 課題が出された場合は適宜それを行う。	
復習 教科書本文・ノート・プリントを見直し、学習内容が理解できているか、確認しておく。 関連した書籍を読んで、理解を深める。	
長期休業の課題 作文(小論文)か読書感想文などが課題となる。 そのときに応じたものがプリント・冊子等で課される。	
表現活動 年間数時間を表現活動の時間とし、思考を論理的に組み立て、相手が理解できるように分かりやすく表現できるようになるための訓練を行う。	
小論文 大学受験に向けて基本的な小論文対策を始める。	
漢字小テストを週1回行う。	
※学年の状況に応じて単元が前後することがある。	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	20	小テスト、授業内の言語活動など
思考・判断・表現	60	定期試験4回
主体的に学習に取り組む態度	20	課題への取り組み、課題の提出状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	1 導入 2 要点をつかむ 3 的確に伝える 中間テスト	・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢を作る。 ・相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。 ・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 ・聞き手が理解しやすい説明の仕方を考えて伝える。
	1 意見を示す 2 論理をとらえる 3 魅力的に伝える 4 資料を駆使する 5 他者と交流する 期末テスト	・他者と意見を交換し、アイデアを出し合う。 ・アイデアを整理しさらに発想を広げる。 ・主張と根拠の関係を捉える。 ・聞き手や読み手の興味を引くように構成や展開を工夫して話したり書いたりする。 ・資料を正確に読み取り、複数の資料を比較したり組み合わせで自分の主張を生み出す。 ・目的に沿った質問をする。
後期	1 情報を比較する 2 他者を動かす 3 主張を吟味する 4 表現活動（ディベートまたはプレゼンテーション） 冬中間テスト	・複数の文章を比較し、共通点や相違点を捉える。 ・提案を検討する際に必要な要素を知る。 ・効果的な資料の提示の仕方を工夫する。 ・主張の妥当性や信頼性を吟味する。 ・討論の流れと司会者・参加者それぞれの役割を理解する。 ・自分の考えが伝わるよう論理に注意して発言する。
	1 考えを発信する 2 表現活動（ディベートまたはプレゼンテーション） 学年末テスト	・的確な情報を集め、問いを立てる。 ・討論の流れと司会者・参加者それぞれの役割を理解する。 ・自分の考えが伝わるよう論理に注意して発言する。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	言語文化		一斉	2単位

教科書 言語文化（大修館書店）	副読本 要点プラス 体系古典文法（数研出版） つながる・まとまる古文単語500PLUS（いいずな書店） 漢文学習必修（啓隆社）
目標・ねらい ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深める。 ・古典の世界に親しむために作品の歴史的背景、文法、古典特有の表現などについて理解する。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など)	
学習方法 予習 教科書の本文を読み、漢字の読み、重要語句の意味調べをしておく。 古文については、本文の難読語の読み・重要単語の意味を調べ・口語訳、漢文については本文の重要漢字の読み、意味・重要句法の書き下し、訳し方を調べ、また、書き下し文、口語訳をしておく。 課題が出された場合は適宜それを行う。	
復習 本文・ノート・プリントを見直し、学習内容が理解できているか、確認しておく。 関連した書籍を読んで、理解を深める。	
長期休業の課題 作文(小論文)か読書感想文などが課題となる。 そのときに応じたものがプリント・冊子等で課される。	
古文単語テストを週1回行う。 漢文についても適宜小テスト、確認テストを行う。	
※学年の状況に応じて単元が前後することがある。	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	20	小テスト、授業内の言語活動など
思考・判断・表現	60	定期試験4回
主体的に学習に取り組む態度	20	課題への取り組み、課題の提出状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	1 言語文化への視点 2 言葉の紡ぐ世界 3 古文に親しむ 4 漢文に親しむ 中間テスト	・言語と文化の関係について、筆者の考えを読み取る。 ・登場人物の場面毎の心情の変化を捉える。 ・古文の文体や歴史的仮名遣いに慣れる。 ・漢文訓読の決まりを理解し、口調やリズムに慣れる。
	1 伝統と発展 2 古典文法 3 人との交わり 4 現代に生きる言葉 期末テスト	・筆者の考えを読み取る。 ・古典文法(用言)を理解する。 ・和歌の修辭法とその効果について知る。 ・古典作品の背景や当時の物事の捉え方などについて知る。 ・故事成語の意味や日本への影響について知る。
後期	1 表現の多様性 2 古典文法 3 語り継がれる歴史 4 漢文句法 5 想いを表す言葉 6 プレゼンテーション 冬中間テスト	・作家による文体の違いや独創的な表現について考える。 ・古典文法(助動詞)を理解する。 ・歴史的な記録と語り継がれる物語の価値について考える。 ・漢詩の形式や表現の特徴を理解する。 ・各自が設定したテーマに沿ってプレゼンテーションを行う。
	1 日本と世界 2 旅と人生 3 文学と人生 学年末テスト	・日本語と外国語の特徴を知る。 ・日本語を相対化し見つめ直す。 ・日記文学の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考える。 ・作品の時代背景や登場人物の関係を理解する。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	歴史総合		一斉	2単位

教科書 現代の歴史総合 みる・読みとく・考える (山川出版)		副読本 なし
目標・ねらい 近現代の歴史の変化に関わる諸事象を通して、今日の人類が直面する課題を歴史的観点から考察し、自ら問いを立てて21世紀の世界について展望する。		
注意事項（学習方法・長期休業の課題など）		
1 学習方法 （１）日頃の学習計画を立て、授業があった日には復習をしっかりと行うこと。 （２）基礎的事項を頻繁に小テストで確認するため、日頃から準備をしておくこと。成績不振者には追試を行う。 （３）長期休暇やその他の日々の課題提出を怠らないこと。		
2 その他 （１）長期休業中は歴史に関連する史跡や資料館、博物館などに足を運ぶことが望ましい。また、新聞などを通して、世界情勢に関心を持つようにすること。		
評価について		
項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	定期試験 小テスト など
思考・判断・表現	40	記述問題 提出物 課題 など
主体的に学習に取り組む態度	20	課題 小テストへの取り組み など

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第Ⅰ部 近代化と私たち 第Ⅰ章 結びつく世界と日本の開国 第Ⅱ章 国民国家と明治維新 中間テスト	・さまざまな資料を活用して、人々の生活や社会の在り方が近代化に伴い変化したことについて考察する。 ・18世紀のアジアや日本における、経済と社会を多面的に考察する。 ・アジア諸国とその他の国や地域について、政治変革や国民国家の特徴、社会の変容を考察する。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を考察する。
	第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第Ⅲ章 総力戦と社会運動 期末テスト	・さまざまな資料を活用して、人々の生活や社会のあり方が大衆化に伴い変化したことについて考察する。 ・第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア地域の関係や国際協調体制の特徴を考察する。 ・大戦後の社会の変容と社会運動の関連を考察する。
後期	第Ⅳ章 経済危機と第二次世界大戦 第Ⅴ部 グローバル化と私たち 第Ⅵ章 冷戦と世界経済 中間テスト	・第二次世界大戦の性格と惨禍、大戦下の人々の生活や、占領政策と国際情勢の関係などを考察する。 ・さまざまな資料を活用して、人々の生活や社会のあり方がグローバル化に伴い変化したことについて考察する。 ・冷戦期の諸事象を通して、国際政治の変容を理解し、世界経済、地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを考察する。
	第Ⅶ章 世界秩序の変容と日本 学年末テスト	・市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを考察する。 ・冷戦終結後の国際政治の変容と課題について考察する。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	数学Ⅰ		習熟度別	3単位

教科書 新編数学Ⅰ（数研出版）	副読本 3 T R I A L 数学Ⅰ＋A（数研出版）
目標・ねらい ・各章の考えについて理解し、基礎的な知識と技能を修得し、事象を数学的に考察して処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） ○科目説明 「数学Ⅰ」と「数学A」では、それぞれ別に成績を算出する。 ○定期試験について （１）授業内容を中心に出题する。 （２）試験当日に、問題集を提出すること。 （３）「数学Ⅰ」「数学A」の２種類の定期試験を行う。 ○その他のテストについて （１）小テスト：授業内容を確認するテスト （２）模擬試験：各自で「振り返りノート」を準備し、テスト毎に提出する。 ○日々の学習について （１）予習として、教科書の例題を読むと良い。 （２）復習として、その日のうちに問題集を解いて、答え合わせと間違い直しをする。 （３）長期休暇の宿題はワーク１冊やプリントが配布される。 （４）各教室に置いてある数学検定の問題集を自由に活用する。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	30	小テスト・課題
思考・判断・表現	50	定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	20	ワークなどの提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1章 数と式 §式の計算 多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解 §実数 実数 根号を含む式の計算 中間テスト	・乗法公式が活用できる。 ・有理化ができる。 ・有理数や無理数などの実数の分類を理解し、証明問題を解くための基盤となる知識を身に付ける。
	§1次方程式 不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 第2章 集合と命題 集合 命題と条件 命題とその逆・対偶・裏 命題と証明 期末テスト 課題学習 第3章 2次関数 §2次関数とグラフ 関数とグラフ 2次関数のグラフ	・等式の性質を復習し、不等号の種類と意味を理解して活用する。 ・命題、条件について理解し、いろいろな証明法を理解する。 ・平行移動した放物線について理解する。
後期	§2次関数の値の変化 2次関数の最大・最小 2次関数の決定 §2次方程式と2次不等式 2次方程式 2次関数のグラフとx軸の位置関係 2次不等式	・最大値・最小値を求める。 ・与えられた条件から、2次関数を決定する。 ・2次不等式が解ける。
	第4章 図形と計量 §三角比 三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張 §三角形への応用 正弦定理 余弦定理 中間テスト 課題学習	・三角比の相互関係について理解する。 ・定理を図形の計量に応用できる。
	正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形への応用 課題学習 第5章 データの分析 データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 2つの変量の間の関係 仮説検定の考え方 学年末テスト	・空間図形に含まれる三角形に着目して、距離や面積を求める。 ・平均値・最頻値・中央値を理解する。 ・範囲・四分位数を理解し、箱ひげ図をかくことができる。分散・標準偏差を理解する。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校 1 年	数学A		習熟度別	2 単位

教科書 新編数学A（数研出版）	副読本 3 T R I A L 数学Ⅰ＋A（数研出版）
目標・ねらい ・各章の考えについて理解し、基礎的な知識と技能を修得し、事象を数学的に考察して処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） ○科目説明 「数学Ⅰ」と「数学A」では、それぞれ別に成績を算出する。 ○定期試験について （１）授業内容を中心に出题する。 （２）試験当日に、問題集を提出すること。 （３）「数学Ⅰ」「数学A」の２種類の定期試験を行う。 ○その他のテストについて （１）小テスト：授業内容を確認するテスト （２）模擬試験：各自で「振り返りノート」を準備し、テスト毎に提出する。 ○日々の学習について （１）予習として、教科書の例題を読むと良い。 （２）復習として、その日のうちに問題集を解いて、答え合わせと間違い直しをする。 （３）長期休暇の宿題はワーク１冊やプリントが配布される。 （４）各教室に置いてある数学検定の問題集を自由に活用する。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	30	小テスト・課題
思考・判断・表現	50	定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	20	ワークなどの提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第 1 章 場合の数と確率 §場合の数 集合の要素の個数 場合の数 順列 組合せ 中間テスト 課題学習	・集合について理解する。 ・順列と組合せについて理解し、場合の数の計算に習熟する。
	§確率 事象と確率 確率の基本性質 独立な試行と確率 条件付き確率 期待値 期末テスト	・確率の基本概念を理解し、比較的単純な事象の確率を計算することが出来る。 ・独立した試行を理解し、四則演算を利用して確率を計算することが出来る。 ・条件付き確率の概念を理解する。
後期	第 2 章 図形の性質 §平面図形 三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 チェバの定理・メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線 2つの円 作図 中間テスト 課題学習	・三角形について理解を深め、論理的に考察する。 ・円外の1点からその円に引いた2つの接線は、等しいことを活用する。 ・直線と平面の関係を理解し、活用できる。
	§空間図形 直線と平面 空間図形と多面体 第3章 数学と人間の活動 約数と倍数 素数と素因数分解 最大公約数・最小公倍数 整数の割り算	・空間図形と多面体について理解する。 ・約数から最大公約数・最小公倍数を求める。 ・整数の範囲における割り算を学ぶ。
	ユークリッドの互除法 1次不定方程式 記数法 座標の考え方 ゲーム・パズルの中の数学 学年末テスト	・整数の割り算と余りから最大公約数を求める。 ・有限小数・無限小数・循環小数について学ぶ。 ・10進法以外の表記法について学ぶ。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	物理基礎		一斉	2単位

教科書 新編 物理基礎 （数研出版）	副読本 物理基礎サポートノート （数研出版）
目標・ねらい 日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識を持って観察、実験を行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 授業プリントの作業で内容把握を行う。 2 授業中に問題演習・小テストを行い、基礎力の向上を図る。 3 問題集の提出を行い、学習状況を確認する。 4 問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。 5 長期休業中にも問題集等の課題に取り組む。	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	30	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	30	課題、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1速度 2加速度 3落体の運動 第2章 運動の法則 1力とそのはたらき 中間テスト 2力のつりあい	・等速直線運動について、x-t図とv-t図の特徴と、そのグラフがもたらす情報を理解する。 ・直線運動における加速度の定義を理解する。 ・等加速度直線運動の3つの公式を理解させ、その具体的な運用を理解する。 ・重力のみを受けた物体の運動は、加速度 g の等加速度直線運動であることを理解させ、自由落下、鉛直投射の式の運用を理解する。 ・力の定義を理解する。力の具体例として重力、垂直抗力、摩擦力、弾性力を理解する。 ・力はベクトル量であり、合成や分解ができることを理解する。 ・つりあう2力と作用・反作用の2力を区別し理解する。
	3運動の法則 4摩擦を受ける運動 5液体や気体から受ける力 期末テスト 第3章 仕事と力学的エネルギー 1仕事 2運動エネルギー 3位置エネルギー	・物体にはたらく力を正しく見つけられるように理解する。 ・ニュートンの運動の3法則を理解させ、運動方程式の立て方を理解する。 ・摩擦力の大きさが摩擦係数と垂直抗力の積で表されることを理解する。 ・液体や気体の中では物体が圧力を受けること、圧力の式とその単位について理解する。 ・浮力、アルキメデスの原理を理解する。 ・仕事の定義を正確に把握し理解する。
後期	4力学的エネルギーの保存 第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 1熱と物質の状態 2熱と仕事 中間テスト	・運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性エネルギーの式を導き、理解する。 ・自由落下を例に、エネルギー保存則を理解する。 ・熱運動について理解させ、熱運動が停止する温度を0とする絶対温度について理解する。 ・熱容量や比熱の定義を理解させた上で、温度を ΔT 変化させるのに必要な熱量を、熱容量や比熱を用いて表すことができるように理解する。 ・物質の三態を熱運動によって理解する。 ・熱がエネルギーの一形態であることを理解する。 ・熱力学の第一法則を理解する。
	第3編 波 第1章 波の性質 1波と媒質の運動 2重ねあわせの原理 第2章 音 1音の性質 2発音体の振動と共振・共鳴	・ウェーブマシンを用いて、媒質中を振動が伝わっていく現象が波動であることを理解する。 ・波の重ね合わせの原理、定常波を理解する。 ・音波の性質、音の3要素を実験を通して理解する。 ・弦の振動、管の振動を実験を通して理解する。
	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 1電気の性質 2電流と電気抵抗 3電気とエネルギー 第2章 磁場と交流 1電流と磁場 2交流と電磁波 第5編 物理学と社会 1エネルギーの移り変わり 2エネルギー資源と発電 学年末テスト	・帯電のしくみを電子の移動によって理解する。 ・電流の向きと大きさ、オームの法則を理解する。 ・電流がする仕事、仕事率、電力について理解する。 ・交流電流のしくみと発生機構を理解する。 ・変圧器のしくみを理解する。 ・電磁波の各領域の名称、その利用、性質を理解する。 ・今まで学んだエネルギーに加えて、核エネルギーの存在と利用について理解する。 ・物理学の最新の成果について理解する。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	化学基礎		一斉	2単位

教科書 高等学校 新化学基礎 （第一学習社）	副読本 新課程版 ネオパルノート化学基礎 （第一学習社）
目標・ねらい 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 授業プリントの作業で内容を理解し、復習もしっかり取り組む。 2 授業中に小テストを行い、基礎力の向上を図る。 3 問題集の提出を行い、確認する。 4 問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。 5 長期休業中にも問題集等の課題に取り組む。	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テスト、小テスト、課題(ネオパルの提出、また特に調べて学ぶ内容のもの)
思考・判断・表現	30	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物(特に自分の考えをまとめ、表現するもの)
主体的に学習に取り組む態度	30	課題、提出物(特に取り組みの状況や内容に客観性を持たせるための文献の使用)

年間授業計画表

	単元	目標
前期	序章 化学と人間生活 第Ⅰ章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 1物質の分離 2物質を構成する元素 3元素の確認 4物質の三態 5原子のなりたち 6同位体とその利用 中間テスト	・化学の研究成果が人間生活に果たしている役割を身近な具体例を通して理解する。 ・物質を対象とする化学の特徴を理解する。 ・物質は混合物と純物質、化合物と単体などに分類されることを学び、元素について理解する。また、成分元素の確認法を理解する。 ・粒子の熱運動と粒子間に働く力の関係によって、物質の状態変化が起こることを理解する。 ・原子の構造について理解する。
	7原子の電子配置 8元素の周期律と周期表 第2節 化学結合 1イオン 2イオン結合 3イオンからできる物質 4共有結合 5分子の極性 6分子からできる物質 7共有結合の結晶 期末テスト 8金属結合と金属結晶 第Ⅱ章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式 1原子量 2分子量・式量	・原子の電子配置とその表し方を理解する。 ・元素の周期律を理解し、周期表の成り立ちを理解する。 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解する。 ・原子を構成している電子の状態によって、物質の状態が大きく変化することを理解する。 ・それぞれの結合の違いと、それぞれの結合によってできた物質の違いを理解する。 ・化学式が書けるようにする。
後期	3物質量 4溶解と濃度 5化学反応式	・原子量・分子量・式量・物質量などを理解し、物質量を用いた簡単な計算を理解する。 ・溶解度・再結晶の原理を理解する。 ・状態変化と化学変化の違いを理解し、化学反応式が作れるようにする。 ・化学反応式の作り方を理解する。
	6化学反応式と量的関係 7化学反応における諸法則 第2節 酸・塩基とその反応 1酸と塩基 2酸・塩基の強弱と分類 3水素イオン濃度とpH 冬中間テスト	・物質量の概念で化学変化を量的関係で把握する方法を理解する。 ・酸と塩基の定義を理解する。 ・酸・塩基の反応を日常生活と関連付けて捉える。 ・pHの指標としての便利さと実用性を理解する。
	4中和と塩 5中和の量的関係 6中和滴定とpHの変化 第3節 酸化還元反応 1酸化と還元 4金属のイオン化傾向 5酸化還元反応の利用 2酸化数 3酸化剤・還元剤 学年末テスト	・中和の量的関係を理解する。 ・酸化・還元の定義を理解する。 ・燃焼、金属の溶解や腐食などの反応も、電子の授受という観点から理解する。 ・酸化還元反応の利用例としての金属の精錬や電池の原理を理解する。 ・酸化数の定義を理解する。 ・代表的な酸化剤・還元剤の電子の授受の規則性を理解し、反応式としてまとめる。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校1年	音楽Ⅰ		一斉	2単位

教科書 ON！1（音楽之友社）	副読本 高校生のための音楽研究ノート
--------------------	-----------------------

目標・ねらい
音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- ・授業の進度により課題の出る場合がある。
- ・各種コンクール等への自主参加は自由。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	期末テスト・実技テスト・パフォーマンス
思考・判断・表現	40	実技テスト・パフォーマンス・課題・平常点
主体的に学習に取り組む態度	10	授業課題・平常点

年間授業計画表

	単元	目標
前期	歌曲の世界	・詩と音楽の関わりについて考える。 ・歌詞や曲想について理解し、表現方法について考える。
	楽典 (音名と変化記号・音符と休符・拍子)	・演奏や歌唱に必要な基本的な音楽の知識を身につける。
	楽曲解釈・POP作り・プレゼンテーション	・楽曲の解釈を魅力的に伝えるための工夫を行う。
	合唱	・表現をふまえた技巧を習得する。 ・音域や種類を理解する。 ・合唱曲の練習を通し、音楽的対話をはかる。 ・視奏力の向上を図る。
後期	鑑賞	・鑑賞を通して、声や楽器の特性と表現上の効果、楽曲の歴史的背景を学ぶ。
	筆記テスト(授業内実施)	
	劇音楽	・劇と音楽の関わりについて考える。 ・総合芸術における音楽の効果を感じ取る。
	ワールド・ミュージック	・さまざまな国の歌に親しむ。 ・曲種に合った発声法や歌い方を工夫する。
	楽典 (音程・音階)	・演奏や歌唱に必要な基本的な音楽の知識を身につける。
	筆記テスト(授業内実施)	
	ギター	・楽器の仕組みを理解し、旋律とコードで合奏する。
	コンサート企画運営	・コンサートの企画運営を通して、音楽によるコミュニケーションの完成を目指す。
	学年末テスト	

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校1年	美術 I		一斉	2単位

教科書 高校生の美術1（日本文教出版）	副読本 なし
目標・ねらい ・美術の幅広い創造活動を通して、表現と鑑賞の能力を伸ばす。 ・美的体験を通して、創造的な思考力を高めるとともに、自己及び他者理解を深める。 ・美術を愛好する心情を育て、美術文化への理解を深めながら、豊かな情操を養う。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） ・作業時には、制服が汚れないように十分注意し、エプロン、タブリエなどを着用する。 ・課題によっては、怪我につながる危険性を伴う為、十分に注意して行う。 ・筆記用具、教科書、絵の具バック、タブレットを持参する。 ・課題によっては、必要な画材を実費にて事前購入し用意する場合がある。 ・各種コンクールへの参加は自由。 ・授業進度や、選択者の希望進路によって、課題内容の変更がある。	
長期休業課題 調査レポート、鑑賞シート、自作の振り返り、作品制作、資料・材料集めなどのなかから、学習内容に合わせて休み前の授業内にて指示。	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	提出物（記述・作品）
思考・判断・表現	50	提出物（記述・作品）・鑑賞文
主体的に学習に取り組む態度	10	提出物（記述・作品）・活動への取り組み

年間授業計画表

	単元	目標
前期	オリエンテーション チョークアート（ネームデザイン）	・展示会のタイトルを鑑賞し、文字デザインの可能性について考える。 ・「自分らしさ」を捉え、名前を色や形で表現する。 ・地の色や、素材（チョーク）特性を生かした表現を楽しむ。
	陶芸 立体作品	・紐づくり、たたらづくりなどの技法を通して陶土の特性を理解する。 ・用途や主題に合わせた制作を楽しむ。 ・釉薬を使用し、各過程で特性を生かした表現をする。 ・作品を鑑賞し、表現の違いに気づく。
	デッサン 卓上構成	・対象を深く観察する力と、質感を捉え描写する力を磨く。 ・全体のバランスを考え、画面の構成をする。
	鑑賞	・油彩制作を見据え、形や色彩、構図や描き方、表現法に着目し、絵画鑑賞の力を養う。 ・他者と美的体験を共有し、各々の反応の違いや共通点を楽しむ。 ・自分なりの視点を持って、作品を解釈する。
後期	油彩 静物画	・画材の特性や技法を理解し、積極的に表現に生かす。 ・鑑賞にて学んだ表現を実践し、絵画構成をするとともに、観察力を養い、基礎描写力を高める。
	デザイン 学園誌表紙	・学校の精神を伝達するためにふさわしい図・書体・配色などを考え、構成する。
	油彩 資料収集 構成画	・自分の好きな表現を収集し、アウトプットすることで自身の表現について認識する。 ・身近なものを新たな視点でとらえ、価値を見出す。 ・手を動かし、イメージを扱うことで表現する。 ・画材の特性や技法を理解し、効果的に表現に生かす。
	相互鑑賞	・作品を発表することで、コミュニケーションを図り、互いのよさを分かち合う。 ・色彩感覚、構図などに着目し、鑑賞の力を養う。
	陶芸 器	・紐づくり、たたらづくりなどの技法を効果的に用いる。 ・用の美への理解を深め、用途や主題に合わせた制作を楽しむ。
	空間構成 テーブルコーディネート	・日常生活に潤いをもたらす美の在り方を探求する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校1年	書道Ⅰ		一斉	2単位

教科書 書道Ⅰ（光村図書）	副読本 なし
目標・ねらい ・書道を通して、日本と中国の文化交流を学ぶ。 ・毛筆における技能を高めるとともに書道の広い分野を学び、自らの感性を使って表現活動に積極的に取り組む姿勢を身につける。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・基本的に宿題は出さない。 ・作品制作が期限に間に合わない場合は、放課後に行う。 ・定期テストは行わない。必要に応じて、授業の中で小テストを行う。	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	小テスト・作品
思考・判断・表現	40	作品・創作作品
主体的に学習に取り組む態度	10	平常点

年間授業計画表

	単元	目標
前期	書道に親しみ、関心を持つ。 楷書の学習 「孔子廟堂碑」・「九成宮醴泉銘」 （向勢と背勢）	・国語科書写と芸術科書道との関係、考え方の違いを理解する。 ・文房四宝について用具・用材に対する知識を高める。 ・古典を学習する意義を理解し、その美と表現技法に関心を持ち、それぞれの古典の持つ特徴的な表現を身につける。
	拓本(湿拓)	・印刷技術のない時代の作品の複写技術を再現して、拓本としての作品を制作する。
後期	篆刻 印稿・布字・刻印・押印	・篆書の成り立ちと変遷について関心を持ち、その造形美を自分の名前に映して落款印を作る。
	創作 書初め大会へ向けて半切作品を制作	・芸術書道で学んだ楷書、行書の技術を活かして制作に取り組む。 ・作品作りの知識を学ぶ。
	行書の学習 「蘭亭叙」の臨書	・臨書により、リズム感・送筆・運筆の技術を発見する。
	一字作品	・文字へのイメージを膨らませて創作する。
	仮名の学習 短歌を料紙に書く ・単体の学習 ・料紙作り ・短歌の練習 ・作品作り	・仮名の書美の構成単位である基本的な用筆を学ぶ。 ・仮名の線の特筆を理解する。 ・料紙についての知識を学び、自分で工夫をした料紙作りに取り組む。 ・自作の料紙に短歌を書き、個性ある作品に仕上げる。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	体 育		一斉	3単位

教科書 なし	副読本 なし
目標・ねらい 自己の能力に応じた運動を選択し、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） ・ 授業形態について 前期、後期それぞれ1種目ずつ、クラス毎に実施することとする。	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	定期テスト・実技テスト
思考・判断・表現	30	カードの内容・実技での思考・判断・表現
主体的に学習に取り組む態度	20	授業への主体性・提出物・服装・授業態度

年間授業計画表

	単元	目標
前期	体育祭準備	・行進の向上 ・ラジオ体操第2の動作の徹底 ・体育祭の準備
	(単独体育) バレー	・基本のパスをコントロールし、三段攻撃のゲーム展開ができる。 ・ルールを理解して審判ができ、自分達でゲームを進め楽しむことができる。
	ハンドボール (A組)	・場に応じたパス・シュートをすることができる。 ・作戦やフォーメーションを考えながらゲームを行うことができる。
	卓球 (B組)	・フォアハンド、バックハンド、スマッシュなど各ショットをラリーの中で使い分けられるようにする。試合の審判、進行ができるようにする。
後期	ハンドボール(B組)	・場に応じたパス・シュートをすることができる。 ・作戦やフォーメーションを考えながらゲームを行うことができる。
	卓球(A組)	・フォアハンド、バックハンド、スマッシュなど各ショットをラリーの中で使い分けられるようにする。試合の審判、進行ができるようにする。
	期末テスト	
	(単独体育) ソフトボール	・基本的な投球動作、捕球動作、打撃フォームを習得する ・試合で攻撃・守備を確実にこなせるようにする。 ・審判をできるようにする。 ・ゲームに必要な戦術を学ぶ
	次年度体育祭準備	
	学年末テスト	

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	保 健		一斉	1単位

教科書 現代高等保健体育 （大修館書店）	副読本 なし
目標・ねらい 現代社会における健康・安全に関する問題について考えることができるようにする。 自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など)	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	定期試験(2回)・心肺蘇生法
思考・判断・表現	30	記述・問い・発表
主体的に学習に取り組む態度	30	振り返りシート・提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	①健康の考え方と成り立ち ②私たちの健康のすがた ③生活習慣病の予防と回復 ④がんの原因と予防 ⑤がんの治療と回復 ⑥運動と健康	・健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・わが国の健康水準の変化とその背景を説明できる。 ・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・健康と運動の関係について説明できる。
	⑦食事と健康 ⑧休養・睡眠と健康 ⑨喫煙と健康 ⑩飲酒と健康 ⑪薬物乱用と健康 ⑫精神疾患の特徴 ⑬精神疾患の予防 ⑭精神疾患からの回復 期末テスト	・食事と健康の関係について説明できる。 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 ・喫煙者やその周辺の人に起こる害について説明できる。 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 ・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。
後期	⑮現代の感染症 ⑯感染症の予防 ⑰性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 ⑲健康に関する環境づくり	⑱ ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 ・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。 ・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ・社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。
	①事故の現状と発生要因 ②安全な社旗の形成 ③交通における安全 ④応急手当の意義とその基本 ⑤日常的な応急手当 ⑥心肺蘇生法	これまで学習した中からテーマを選び、レポート作成、または、プレゼンテーションで発表する。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校1年	家庭基礎		一斉	2単位

教科書 家庭基礎 明日の生活を築く（開隆堂）	副読本 家庭科資料集 LIFE（教育図書）
目標・ねらい 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 プリント、課題などは必ず提出すること。また、製作物が未完成の場合は、採点の対象にならないので注意すること。 2 調理実習では、班で作業することも考え、なるべく欠席のないよう体調管理に注意すること。 3 長期休業中には、家庭での実践を含めたレポート等の課題がある。	

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	定期テスト、製作物
思考・判断・表現	30	ワークシート、課題レポートの内容、製作物
主体的に学習に取り組む態度	20	授業、課題への取り組み状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	衣食住の生活と健康①	生涯を見通した健康で安全な食生活を営むために必要な、栄養・食品の基礎的な知識を習得する。 □ □ 安全で環境に配慮した住生活を営むために必要な基礎的な知識と技術を身につける。□ □ □ □
	消費生活と持続可能な社会	消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解し、適切な意思決定に基づいて行動できるようにするとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考える。□
	期末テスト	
後期	人の一生と家族・家庭及び福祉 ☑ ☑ ☑	人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに、家族や家庭生活の在り方について考える。 生涯を見通した自己の生活について考えるとともに、主体的に生活を設計できる。 高齢期の特徴と生活および高齢社会の現状と課題について理解し、高齢者の生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について考える。
	衣食住の生活と健康①	健康で快適な衣生活を営むための被服管理に必要な、被服材料や被服構成などの基礎的な知識と技術を習得する。
	ホームプロジェクト	自己の家庭生活や地域の生活と関連付けた生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して、生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身につける。
	学年末テスト	

履修学年	科目	必修	授業形態	
高校1年	宗 教		一斉	1単位

教科書 聖書 新共同訳続編つき （日本聖書協会）	副読本 なし
目標・ねらい ①学園の建学の精神に触れ、キリスト教の基礎的な知識を身に付ける。 ②キリスト教の歴史を理解する。 ③聖書に触れ、神のメッセージを学ぶ。 ④生徒一人ひとりが神に愛されていることを実感させる。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・聖書のみことばと、現代社会の諸問題に関連付けながら、学ぶように導く ・修養会などの宗教行事に関しての事前の準備と、事後の振り返りを行う。 ・修養会ノートの提出や、課題に対するレポートを定期的に課す。 ・夏休みには読書感想を書く。(宗教書などの指定は適宜行う)	

評価について

項目	割合	授業時における項目
宗教への興味・関心	20	修養会・課題
キリスト教についての知識・理解	60	定期試験
キリスト教的価値観を表現する力	20	授業内のレポート・ノート

年間授業計画表

	単元	目標
前期	・宗教とは何か？ ・ユダヤ教について ・キリスト教の歴史	・宗教に対する認識の確認と整理。 ・ユダヤ教の基本的知識の習得。 ・アブラハムから現代までの歴史の振り返り。
	・イスラム教について。 ・世界の宗教の現状について ・現代社会の諸問題に対するキリスト教会の考え 期末テスト	・イスラム教の基本的知識の習得。 ・宗教対立の現状と平和への取り組み。 ・生命倫理や社会道德に対するカトリック教会の態度や教えを確認する。
後期	・仏教について ・神道について ・現代社会の諸問題に対するキリスト教会の考え ・カトリック教会の諸活動について ・修養会について	・仏教の基本的知識の習得と、日本古来の宗教について。 ・生命倫理や社会道德に対するカトリック教会の態度や教えを確認する。 ・世界の各地で活躍しているカトリック教会の諸活動について調べる。 ・指導司祭の紹介・テーマの確認・ミサや修養会の企画運営。
	・世界の各国で作られている宗教を土台とした様々な文化・絵画・映画など考察 ・聖書を読む 学年末テスト	・近現代の映画やミュージカルなどから、宗教への意識の違いを感じさせる。 ・各生徒に好きな聖書の言葉を選ばせ、理解を深めさせる。